

再評価結果（平成25年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

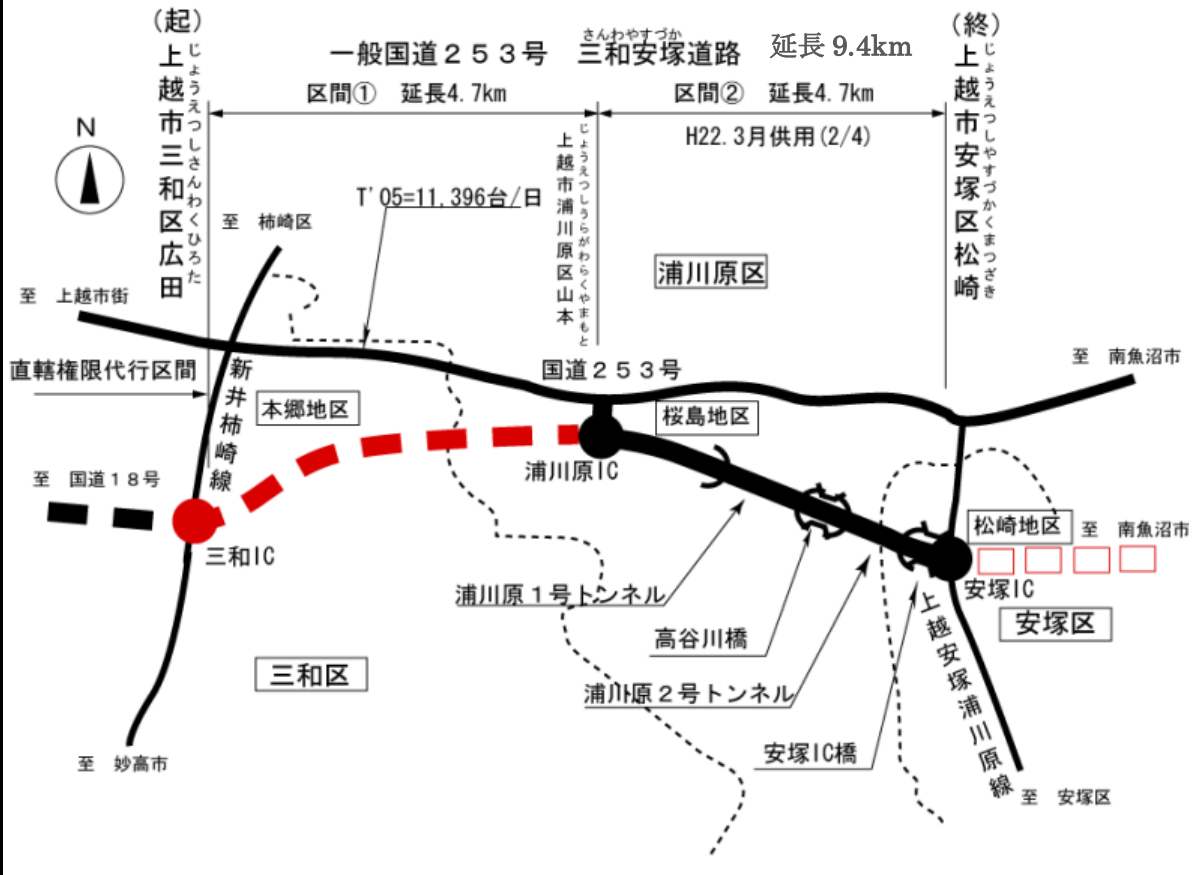
担当課長名： 三浦 真紀

事業名	地域高規格道路 上越魚沼地域振興快速道路 一般国道253号 三和安塚道路	事業区分	一般国道	事業主体	新潟県		
起終点	自：新潟県上越市三和区広田	至：新潟県上越市安塚区松崎	延長	9.4km			
事業概要	三和安塚道路は、上越地域と魚沼地域を相互に連絡し、両地域および北陸自動車道、関越自動車道、上信越自動車道を結びつける広域ネットワークを形成する延長約60kmの地域高規格道路上越魚沼地域振興快速道路の一部を構成する。一般国道253号は、上越市と十日町市を結ぶ幹線道路であり交通量も多く、本事業区間の現道は人家連担部で幅員が狭いため、特に朝夕のラッシュ時において渋滞が発生している。また、冬期間は積雪により有効幅員が減少するため、交通容量が低下し混雑している。本事業は、隣接する直轄施工区間と一体整備することで、終点部の安塚区松崎から上越市街地への大幅な連絡時間短縮や、救急搬送、物流の効率化、観光促進、地域の活性化等を目的とした、暫定2車線道路整備である。						
H9年度事業化		平成14年度用地着手		平成14年度工事着手			
全体事業費	379億円	事業進捗率	66%	供用済延長	4.7km		
計画交通量	16,500台/日						
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.4 (残事業) 4.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 100/421億円 事業費：95/412億円 維持管理費：5/9億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 409/581億円 走行時間短縮便益：317/453億円 走行経費減少便益：70/100億円 交通事故減少便益：22/28億円	基準年	平成24年		
感度分析の結果	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; border: none;">(事業全体) 交通量：B/C=1.3~1.6 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.4~1.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.6 (事業期間±20%)</td> <td style="width: 50%; border: none;">(残事業) 交通量：B/C=3.9~4.7 (交通量±10%) 事業費：B/C=3.9~4.8 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.9~4.5 (事業期間±20%)</td> </tr> </table>					(事業全体) 交通量：B/C=1.3~1.6 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.4~1.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.6 (事業期間±20%)	(残事業) 交通量：B/C=3.9~4.7 (交通量±10%) 事業費：B/C=3.9~4.8 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.9~4.5 (事業期間±20%)
(事業全体) 交通量：B/C=1.3~1.6 (交通量±10%) 事業費：B/C=1.4~1.5 (事業費±10%) 事業期間：B/C=1.3~1.6 (事業期間±20%)	(残事業) 交通量：B/C=3.9~4.7 (交通量±10%) 事業費：B/C=3.9~4.8 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.9~4.5 (事業期間±20%)						
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保・・・新幹線駅（JR上越駅・仮称）へのアクセス向上 ・物流効率化の支援・・・重要港湾（直江津港）へのアクセス向上 ・国土・地域ネットワークの構築・・・日常活動圏中心都市（上越市）へのアクセス向上 ・個性ある地域の形成・・・主要な観光地へのアクセス向上 ・安全で安心できるくらしの確保・・・三次医療施設（県立中央病院）へのアクセス向上 						
関係する地方公共団体等の意見	「上越魚沼地域振興快速道路建設促進期成同盟会」が組織されており、早期整備・供用の強い要望がある。						
事業評価監視委員会の意見	対応方針（案）のとおり、事業の「継続」は妥当である。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年3月13日、浦川原IC～安塚IC（L=4.7km）区間を供用開始。 ・開通区間現道については、約5,000台/日・方向の交通量の約3割が三和安塚道路に分流し、三和安塚道路及び現道ともに、ピーク旅行速度（平均）が向上しており、交通流が円滑化している。 						
事業の進捗状況、残事業の内容等	道路計画で調整が続いていたほ場整備済み地区の構造変更の了承を受けた後、残事業区間の早期供用に向け、整備推進を図っていく。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備済み地区において自然環境や営農などへの影響を懸念し、道路計画協議に時間を要している。 ・平成23年度に上越市がほ場整備済み地区の自然、農業などの特殊性について、学識経験者と地元役員とで構成する勉強会を開催し、平成23年12月に「高架構造が最適」とする提案書が県に提出された。 						
施設の構造や工法の変更等	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場整備済み地区への影響を考慮し、道路を盛土構造から高架構造に変更する。 ・コスト縮減として、事業で発生した土砂を利用し、資源の有効利用を図っている。 						
対応方針	事業継続						
対応方針決定の理由	事業の必要性や重要性は高く、事業進捗も見込まれることから、継続が必要である。						

事業概要図



起点 上越市 地域高規格道路「上越魚沼地域振興快速道路」延長約60km 終点 南魚沼市



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。